

航空機運航のDX推進に向けた検討会 (第3回) 発表資料

日本航空株式会社

2021年11月09日

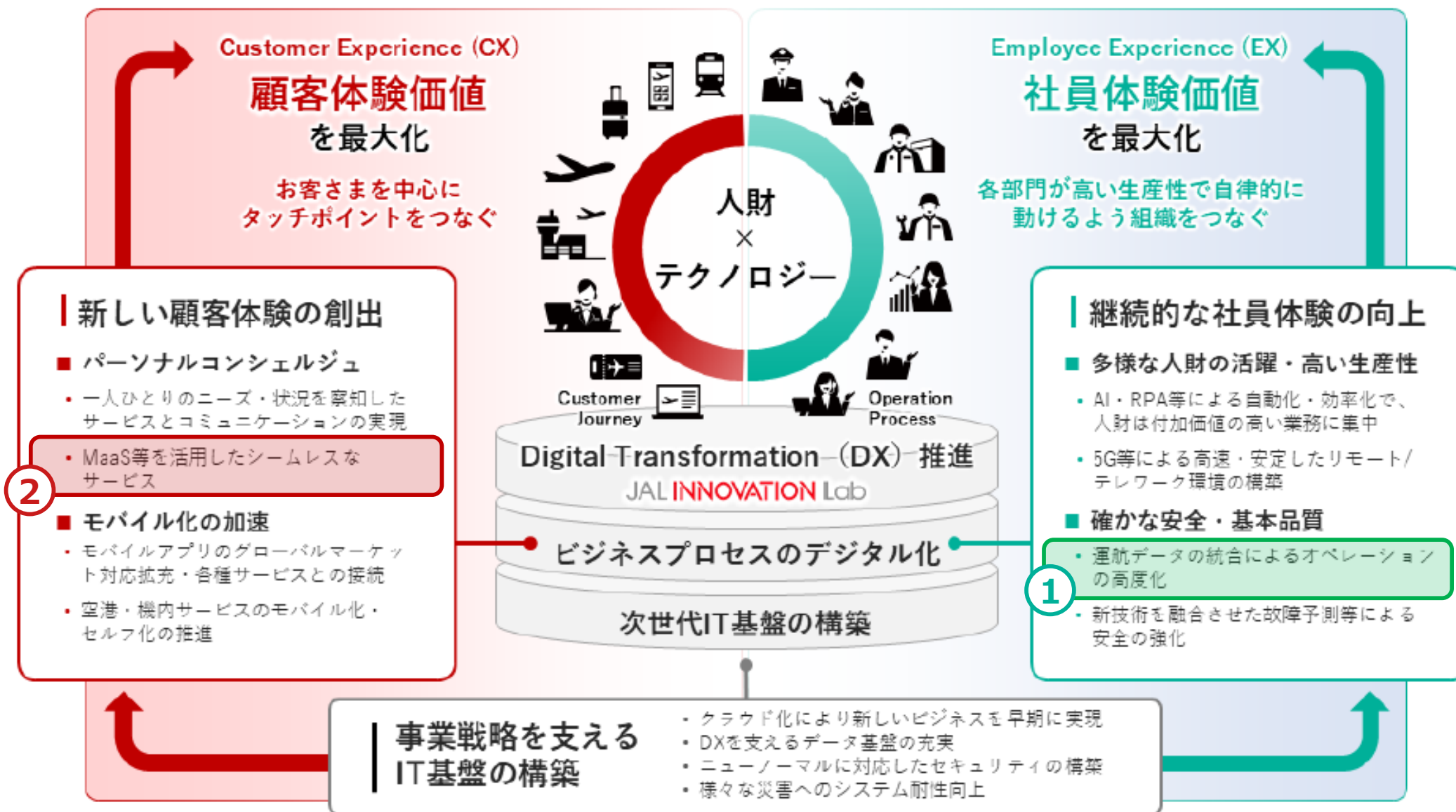


JAPAN AIRLINES



1. JALグループにおけるデジタル・IT戦略
2. 航空機運航のDX推進に期待すること

1. JALグループにおけるデジタル・IT戦略



2. 航空機運航のDX推進に期待すること ①

① 運航データの統合によるオペレーションの高度化

目指す姿

運航の安全性・運航品質やお客様体験価値を向上するため、
より高度で精緻な状況分析に基づくオペレーションを実現する。

課題

状況分析に必要な標準化されたデータの取得（以下 例）

運航状況（他社を含む）

- 駐機場に到着する 予定到着時刻
- 駐機場を出発する 予定出発時刻
- 地上作業工程
- イレギュラリティ(運航ダイヤの乱れ)に伴う運航状況
- 予約状況（空席状況）
- 揺れの情報（EDR*の導入）

* 航空機が自動的に検知・送信する客観的な揺れの情報

等

各空港情報

- 駐機場の運用状況
- 地上機材（GSE）の配備・利用状況
- 滑走路情報（使用滑走路・滑走路状態）
- 発着枠 / Permission
- CIQ（税関・出入国審査・検疫）
- ターミナル混雑状況
- 航空機の位置情報（トーイング中を含む）

等

DX推進への
期待 ①

オープンで標準化された一元的データ交換プラットフォームが構築されること

2. 航空機運航のDX推進に期待すること ②

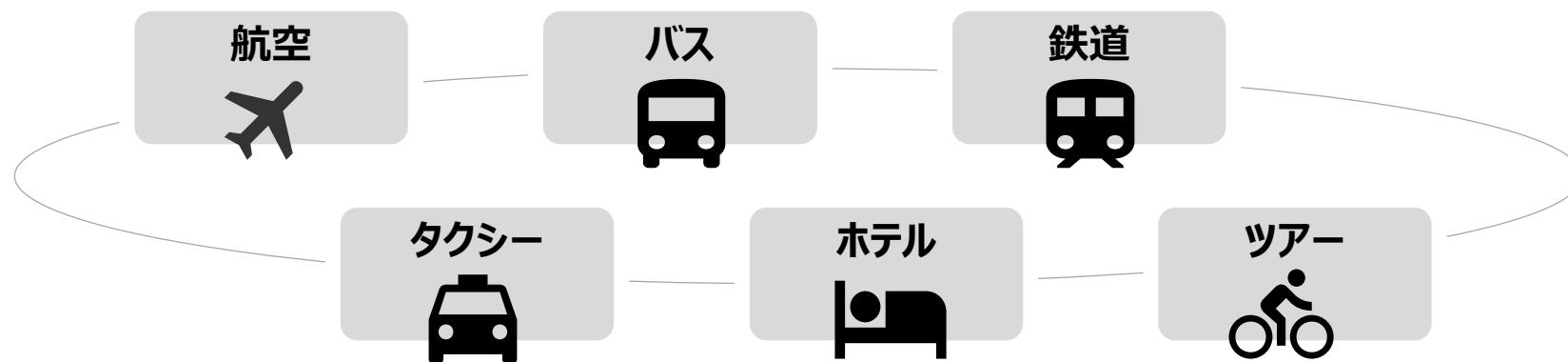
② MaaS 等を活用したシームレスなサービス

目指す姿

お客様にとっても、いつでも、どこでも、利用者に寄り添った情報が欲しいといったデジタルに対する要求が高まるため、**航空機運航だけでなく、MaaS に関わる事業者全体でストレスフリーな移動要求に応える。**

課題

カスタマージャーニー全体における事業者情報の取得（以下 例）



DX推進への
期待 ②

公共交通オープンデータ協議会やアプリケーションサービスプロバイダーなどと連携し
多様なプレイヤーが活用して価値創造できるオープンな規格が早期整備されること